

『再建の神様』

江上 剛／著 PHP 研究所 (分類:Fエ)

“再建の神様”早川種三に憧れる銀行マンは、絶望の末に経営コンサルタントと出会う。彼とともに、倒産しかけた会津の温泉宿を再建することになったのだが…。『河北新報』『長野日報』『新潟日報』掲載を単行本化。



『その扉をたたく音』

瀬尾 まいこ／著 集英社 (分類:Fセ)

ミュージシャンへの夢を捨てきれず怠惰な日々を送る宮路は、演奏に訪れた老人ホームで、神がかったサックスの音を耳にする。吹いていたのは介護士・渡部だった。ホームに通い始めた宮路は…。『小説すばる』連載を加筆・修正。



『ムーンライト・イン』

中島 京子／著 KADOKAWA (分類:Fナ)

職を失い、自転車旅行をしていた栗田拓海は、年季の入った一軒の建物を訪れた。そこには3人の女性がそれぞれ事情を抱えて過ごしていた。拓海は足の怪我が治るまで、そこにとどまることに…。『小説野性時代』連載を単行本化。



『クララとお日さま』

カズオ・イシグロ／著 早川書房 (分類:933イ)

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョジーと出会い、やがて2人は友情を育んでいく。愛とは? 知性とは? 家族とは? 生きることの意味を問う感動作。



『読売年鑑 2021年版』

読売新聞東京本社 (分類:R059ヨ)

新聞社が発刊する現在国内唯一の総合年鑑。2020年に起きた主なニュースを網羅した重要日誌、コロナとの闘い、各界の第一線で活躍する約11000人を収録した分野別人名録などを掲載。



『私は真実を知りたい』 赤木 雅子／著 文藝春秋 (分類:312 ア)

森友事件の渦中で、総理夫人らの名を隠蔽するため行われた公文書改ざん。懊悩の末に死を選んだ近畿財務局職員・赤木俊夫の妻による「手記」と、事件を追う記者による「同時進行ドキュメント」で、「森友」改ざんの真相に迫る。



『中国の電撃侵略 2021-2024』

門田 隆将／著 産経新聞出版 (分類:319 カ)

2021年から2024年にかけて、世界、そして日本は大変な危機に見舞われる。中国による電撃侵略である。作家でジャーナリストの門田隆将と中国ウォッチャーの第一人者・石平が、危機の真の意味と将来予想を語り尽くす。



『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン／著 新潮社 (分類:491 ハ)

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。

